

# リサイクルに関する塩ビ業界の取組みと進展 ーリサイクルビジョン フォローアップー

塩ビ工業・環境協会(VEC)と塩化ビニル環境対策協議会(JPEC)は平成19年5月末に公表した「リサイクルビジョンー私たちはこう考えますー」に則して塩ビリサイクル活動を一步一步進めています。ここに平成22年度の活動と進捗状況をとりとめて公表致します。

平成23年7月20日



塩ビ工業・環境協会 塩化ビニル環境対策協議会  
〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 六甲ビル 8F  
TEL:03-3297-5601 FAX:03-3297-5783



## (1)塩ビ製品リサイクルトピックス

### ①塩ビリサイクル支援制度の進捗

#### 開発の終了した採択案件(下記2件)の成果報告会を行いました

塩ビリサイクル材を使用した新製品フラクタル日除けの開発や、廃タイルカーペットから塩ビを分離・回収しペースト塩ビゾルの増量剤として再利用する技術の開発によってマテリアルリサイクルの新たな道が拓かれました。

- ◎ 塩ビリサイクル材料を用いたフラクタル日除けの開発(積水化学工業㈱)
- ◎ PVCタイルカーペット廃材のマテリアルリサイクル技術の開発(山本産業㈱)

なお、廃塩ビを使用したフラクタル日除けは、ららぽーと豊洲(東京都江東区)、東名阪自動車道の御在所サービスエリア(三重県四日市市)、京都大学構内(京都府京都市)などに設置されています。

#### 平成22年度の新規採用案件は有りませんでした

塩ビ工業・環境協会が創設した「塩ビリサイクル支援制度」も4年目を迎えましたが、残念ながら昨年度の採用案件は有りませんでした。今後の積極的なご提案を期待しております。

### ②廃塩ビ製品のTR実証試験を実施し、関東地区における大手TR処理可能な2施設を新たに追加しました

昨年度実施したエコシステム千葉に続き、関東地区の大手処理メーカーであるジャパンリサイクル㈱とオリックス資源循環㈱においてレザー・壁紙・サッシ等の廃塩ビ製品のTR試験を行いました。その結果、廃塩ビ製品が実用規模において問題なくTR処理できることが実証され、この2社を新たな廃塩ビ製品が処理できる施設として追加しました。

### ③リサイクル企業との協業により、塩ビリサイクル促進を図りました

タイルカーペットのリサイクル工場を新設したエバタ㈱の立上げに協力することで塩ビリサイクルの促進を図りました。また、セメント企業3社の塩ビ含有廃プラスチックのセメント原燃料化に関して計画推進のための協力を行いました。その結果、1社がセメント原燃料化プラントの事業化を決定し、今年度末に施設完成、来年早々に本格稼働の予定で進んでおり、大量の廃塩ビ含有混合プラスチックのリサイクル処理が期待されます。

## (2)各分野で塩ビ製品のリサイクルが各加工団体の活動で進展しています

①管・継手 塩化ビニル管・継手協会では有価購入と処理委託の2つのシステムを築き、リサイクルを進めています。平成22年度は有価購入の拠点3減、処理委託の拠点6増で、全拠点数は78拠点となり、リサイクルネットワークが更に充実しました。特に、管工事組合・大手ゼネコンや大手ハウスメーカーにリサイクルシステムを直接説明し、協会システムの推進に努めた結果、排出量の約58%(前年度約55%)に相当する約21千トンがリサイクルされました。さらに、産業廃棄物の中間処理業者へのアンケート調査を行い、塩ビ管など硬質塩ビ製品のリサイクルの実態を把握しました。得られた結果は、今後のリサイクル促進に役立たせる方針です。

②農業用ビニルフィルム 行政、JAを中心にした協議会の組織活動の結果、リサイクル率は71%(平成21年度)と高い実績となりました。農業用フィルムリサイクル促進協会(NAC)は、さらにリサイクル促進のために国や県協議会の研修会に参画し、分別回収のリサイクル関連情報提供などの広報啓発を行ないました。

③床材 床材メーカーは、他の塩ビ製品の再生材を床材裏層に大量使用する重要な役割を担っています。ビニル系床材は再生材の使用比率が高く、エコマーク商品にも指定されています。インテリアフロア工業会では、施工時に発生するビニル系床材の端材・余材、使用済み置き敷き型ビニル床タイルなどのリサイクル推進を目的に平成20年に環境省の「広域認定」を取得しました。平成22年度は、20トン弱のビニル系床材を回収しました。回収物は、インテリアフロア工業会に加盟する各社で床材原料として再利用されています。

④タイルカーペット 日本カーペット工業組合タイルカーペット部会は「タイルカーペトリサイクルWG」にて、カーボンフットプリントの商品種別算定基準(PCR)を作成しました。また、リファインバース(株)において、平成22年度は約15千トンのタイルカーペットがリサイクルされました。さらに、新たなリサイクル企業としてエバタ(株)が新規参入し、6千トンのリサイクルが今後期待されます。

⑤塩ビ壁紙 壁紙はその9割余りが塩ビ系壁紙です。このものは塩ビと紙が強固に付着した複合材料のため、これまでリサイクル率が1~2%でしたが、様々な処理技術の開発が進み、平成21年度は排出量の6%以上がリサイクルされました。さらにリサイクル促進のために廃壁紙から壁紙、廃壁紙から他の製品などへのマテリアルリサイクル調査研究や、施工現場における壁紙の小口回収システムの構築などの取組を行なっています。

⑥塩ビサッシ (社)日本サッシ協会、プラスチックサッシ工業会、塩ビ工業・環境協会の関係3団体は、塩ビサッシリサイクル合同ワーキンググループを組織し、サッシリサイクルシステムの構築を進めています。平成22年度は、札幌で「北海道地区における塩ビサッシリサイクルの今後の展望を探るシンポジウム」を開催しリサイクル促進の広報を行ないました。また、品質向上での再生品の用途拡大を目指した調査・検討を行ないました。

⑦塩ビ雨樋 塩ビ雨樋協会は、中部3県(愛知・三重・岐阜)を対象に新築時の雨樋端材回収のモデル事業を実施しており、平成22年度は約3トンが回収、再利用されました。また、今後は東関東地区での新たなマテリアルリサイクルの試行を行い、リサイクル活動の拡大と展開を図っていきます。

## (3)おわりに

リサイクルビジョンを発表してから4年が経過し、リサイクル推進活動に対して総額12.7億円を投入してきました。平成22年度のリサイクル支援制度では、タイルカーペットの新技术開発と廃塩ビを使用したフラクタル日除けの新製品開発において成果と進展がありました。また、関東地区の大手TR施設で廃塩ビ製品の処理を実施し、廃塩ビ製品のリサイクルができるTR施設を追加しました。今後も塩ビリサイクル支援制度を中心にリサイクル促進と基盤整備に向けて取組みます。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。